

進歩した白内障手術との時期について

目が白くなつてから手術…
という昔の物語

白内障手術をいつ、どのような時期に行なうかは、白内障の患者様にとって重要な問題です。現在でも、「白内障の手術は目が白くなつてから」という、従来の定説をかたく信じる患者様によく出会います。

従来の手術法では、目が真っ白になり視力も無くなつて、水晶体の周りが大きな固まりになつてから大きく創口を開き、水晶体を取り出す手術を行なわねばなりませんでした。

しかし、例えば、果実が熟しすぎて中味が崩れていくように、白内障が熟するまで放置している間に、急性の緑内障や目の中の炎症を起こしたりすることもありました。この手術を行つても、手遅れになることも多かつたのです。また、知らぬ間に目の奥の病気(緑内障や眼底出血など)を併発して、手遅れとなり失明に至る例も少なくありませんでした。したがつて、不自由を忍び、目が白くなるまで待つて手術をすることは、現在では、術後の視力回復に悪い影響を及ぼすことが分かつてきました。

最新の高品質眼内レンズで
明るく光ある老後を！

このような理由から、現在では、視力低下が進んだら、放置せずに手術を実施するようになりました。そして、手術方法も目薬のように優しい点眼麻酔によつて、わずか3ミリ程度の創口から濁った水晶体を超音波で細かく乳化して吸引する方法に進歩してきました。

さらに当院では、その小さな創口から最も進歩した高品質の眼内レンズを、小さく折り畳んで挿入し、目の中で開いて固定するという最も新しい方法を導入しています。これが「最小切開法」と呼ばれる、世界でも優れた手術法です。このよくな最新技術の導入により、従来の方法と比較して、わずか四分の一程度の切開創で済むようになります。手術時間も通常の目であれば15分程度の手術で済み、日帰りでの手術を実現。同時に術後の回復が早いことも特徴で、術後早期よりほぼ通常の生活を送ることができます。また、ほぼ一生使える眼内レンズには50年以上の歴史があり、健康保険が適用され、毎年70万件以上手術が全国で行なわれています。当院でも開業以来6500例以

上もの「最小切開法」による白内障手術を無事施行し、重篤な合併症は一例も経験しておりません。

現代社会では、情報の80%以上を目から取り入れると言われています。しかし、そのため必要な視力は、テレビ・新聞を快適に見るためにには0.5以上を要します。また、当地域でも高齢者のドライバーの方が非常に多く、運転するには0.7以上の視力が必要となります。この

ように高齢者の方々にとつても、快適な日常生活を維持するためには良い視力を保つよう治療してゆくことが大切です。

小さな切開創から2つに折りたたんで、挿入可能で柔軟な高品質の眼内レンズが開発されました。



「最小切開法白内障手術」

より小さな切開創へ

(従来の約1/4)

従来の切開創
約12mm

最新の切開創
約3mm



[予約受付時間] 前日までのPM12:00～PM5:00

受付予約システムのご案内

当院では、患者様の待ち時間を少しでも短くするために、受付の「予約をお取り」しています。特に、初診の方やメガネ・コンタクトご希望の患者様の混雑を緩和するために、事前の「予約をお勧めします。【受付予約】は、左記の時間帯にお電話で「連絡下さい」。

- 患難の原因になりますので、当日の「予約」は「連絡下さい」。

- 午前中は、電話が大変混み合つております。できるだけ上記の時間帯にお掛け下さい。

- 会計課」「次回」来院の受付予約の日時の紙をお渡ししています。

- 予約時間は、受付をしていただく時間です。診察が始まる時間ではありませんので、「1ヶ月予約下さい」。

- ご来院できなくなった場合は、受付の日時を変更致しますので、受付予約と同様に「午前中の時間帯に必ず」連絡下さい。

- 受付予約の時間より早めに来院されても、その時間までお待ちいただくことがあります。

- 受付予約の時間より30分以上遅れられた場合は、「予約が無効となりますので、ご注文下さい」。

- 「初診の患者様」

- さらに、待ち時間を見短縮するために、受診前日までに保険証等の書類をお持ちの上「受付まで」(来院いたさます)と、予約だけではなく、カルテや診察券も作成できますので、診察時の待ち時間のさらなる短縮が可能となります。

- 初診時の検査及びメガネ・コンタクトを処方するための正確な検査のために、一人につき約20～30分程度の時間が必要となります。なるべく待ち時間を少くする様努力いたしておりますが、この様な理由から事前に受付の「予約をお取りいたくことをお勧め致します。